

介護老人保健施設ライフサポートねりま

症例概要 利用者: 80代 女性 要介護2

病名: アルツハイマー型認知症

利用サービス: 入所

経過: 令和2年11月から入所。ねりま健育会病院を自宅退院され、令和2年11月にライフサポートねりまにリハビリ目的で入所。

内 容

退院後自宅で過ごすも、歩行自立レベルだが、徐々にADLが低下し、貯筋プラン目的で当老健入所される。入所当初、ADLは自立レベルだが、難聴があり他者とのコミュニケーションが取りづらく、施設の環境に馴染めず孤立していた。

リハビリ以外の余暇時間のレクへの参加も声掛けするが、積極的に参加できなかった。早く環境に馴染めるよう職員みんなで声掛けし、余暇時間を楽しめるように集団体操への参加、塗り絵や脳トレなど他の利用者さんと楽しくできるような環境を提供した。

元々、手先が器用で、得意とする折り紙などの作業を他の利用者さんに教えたり、他者との交流やコミュニケーションが広がり、笑顔で過ごす時間が多くなり、施設での生活が充実したものになった。

今年度、コロナ感染対策をしながらの納涼祭を行うことになり、企画の中に盆踊りをするをご本人に伝えたところ、ぜひ参加したいと喜ばれた。昔、趣味で新舞踊をされており、人に教えていた経験から入所されている利用者さんの踊りの指導をしてくださった。納涼祭当日の踊る姿は生き生きとされており、輝いていました。

ご家族からは、7月末に退所が予定されていたが、納涼祭の話聞き、コロナ禍で祭りの機会がなく、生きがいである踊りができる納涼祭にはぜひ参加させてあげたいと希望された。後日、ご家族には当日の様子を伝えたところ、大変喜んでいただいた。

感染対策をしながらの行事ではあったが、利用者さんは笑顔で楽しい時間を過ごすことができ、その人らしく心豊かな時間が過ごせ、輝きの一日となった症例。